

# 大昔の暮らし | 国づくりへの歩み②

## 1 単元の概要

わが国の歴史が形づくられた時期において、狩猟・採集や農耕が始まったころの人々の生活、社会の様子、各地に大きな力をもつ豪族が出現したことなどを調べます。また、神話・伝承も調べることで、国の形成について当時の人々のものの見方や考え方が分かります。これらのことを通して大和朝廷による国土統一の様子を学習しましょう。

## 2 学習のねらいと手だて

- 狩猟・採集や農耕の始まりや古墳について調べ、大和朝廷による国土統一の様子を理解させる。
- 博物館や郷土資料館等を活用して遺跡や遺物などを観察する学習、身近な地域に残る古墳について調べる学習などの体験的な活動を通して、大昔の人々の知恵や工夫を学ぶことができるようにする。



日明一本松塚古墳

## 3 指導計画（総時数7時間）

学習活動と内容	○指導・支援上の留意点 ◆展示物など	時間
I 想像図を基に、大昔の人々の暮らしの様子について話し合う。	○ 想像図を基に、住居や集落の様子、村人の仕事の様子などを視点に話し合わせる。	1時間
II 縄文時代と弥生時代の展示物を調べて、二つの時代を比べる。	○ 縄文時代と弥生時代の展示物の違いから人々の暮らしや社会がどのように変化したのかについて考えさせる。 ◆ 資料「縄文人と弥生人」 ◆ テーマ館「旧石器時代から古墳時代の北九州」コーナー ◆ 探究館「弥生時代の暮らし」	1時間
III むらの様子や変化について調べる。	◆ 探究館映像「弥生のムラの日」	1時間
IV 豪族がほうむられた古墳は、どのようなものだったのか調べる。 ① 日明一本松塚古墳の石室の大きさから古墳作りの様子を想像する。 ② 出土品のふるさとを調べる。	■ 博物館での学習 ○ 石室から古墳の大きさを実感させ、古墳作りの様子を想像させる。 ○ 出土品などから大陸の文化などの影響について考えさせる。	1時間
③ 大山古墳や大和朝廷による国土の統一について調べる。	◆ テーマ館「先史・原史コーナー」パネル「在地豪族の展開」「前方後円墳の出現」	1時間
V 調べたことをもとにして、歴史新聞をつくり、大昔の人々の暮らしの変化について話し合う。	◆ 博物館のパンフレットや博物館で撮影した写真などを活用する。	2時間

## 4 学習展開例（1時間扱い）

学習活動	○指導・支援上の留意点	◆展示物など
<b>1 豪族がほうむられた古墳は、どのようなものだったのか調べよう。</b>		
<b>I 日明一本松塚古墳の石室を調べる。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日明一本松塚古墳（装飾古墳）の石室の外観や中の様子を見て、古墳の大きさを実感させる。</li> <li>○ 古墳の石室に使われている大きな石や巨大な一枚岩などを自分の体と比べさせ、どのようにしてこの石や岩を運んだのか疑問をもたせる。</li> <li>○ 一番奥の大きな石には、文様が描かれていることに気付かせ、どのような人がほうむられていたのか考えさせる。</li> </ul>	博物館での学習 1時間  ◆日明一本松塚古墳の石室模型 ◆日明一本松塚古墳石室模型内の装飾や壁画
<b>II 石室の大きさから古墳づくりの様子を想像する。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 古墳に使われている石や岩の大きさから、多くの人々が働き、大変な苦労があったことに気付かせる。</li> <li>○ 古墳の石室のようすから、何のために古墳づくりを行ったのかを考えさせるようにする。</li> </ul>	◆日明一本松塚古墳の石室模型 ◆日明一本松塚古墳の出土品
<b>2 出土品を調べよう。</b>		
<b>I 出土品にはどんなものがあるか調べる。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 古墳には、豪族の遺体とともに、さまざまな品物が納められていたことに気付かせる。</li> <li>○ 出土品が朝鮮半島から制作技術が伝わってきているということから、大陸とのつながりにも気付かせる。</li> </ul>	◆日明一本松塚古墳の出土品 ◆紫川流域の墳墓群の出土品
日明一本松塚古墳出土の須恵器	紫川流域の古墳分布図	

## 5 博物館での学習

### ① 豪族がほうむられた古墳は、どのようなものだったのか調べよう。

博物館での学習

「テーマ館」の先史・原始のコーナーには、北九州市とその周辺地域で発掘された古墳時代の資料が展示されています。北九州市とその周辺地域にある古墳の写真や出土品などが解説パネルでわかりやすく紹介されています。また、日明一本松塚古墳の石室を復元したものがあり、子どもたちが実際に古墳の大きさを実感することができます。

展示された資料をもとに、古墳づくりの様子や古墳時代の豪族の暮らしや大陸とのつながりをうかがうことができます。

#### 日明一本松塚古墳の石室の大きさから古墳づくりの様子を調べよう。

日明小学校横の響灘を臨む洪積丘陵南斜面に位置する円墳（径約15m）の模型です。

石室は、全長は約7.5m、玄室は長さ2.0m、幅2.4m、高さ2.5mです。玄室奥壁は幅2.1m、高さ2.5mの一枚岩を使用し、そこに装飾文様を施しています。

巨大な一枚岩を運ぶことから、たくさんの人手が古墳づくりに必要なことが分かります。

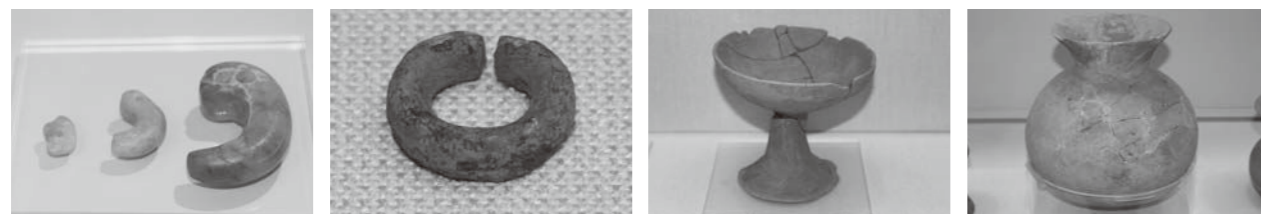


日明一本松塚古墳の石室模型

### ② 出土品を調べよう。

博物館での学習

#### (1) 古墳から出土したもの



勾玉

耳環

高杯

壺



人物埴輪



金銅製馬具



鉄刀

#### (2) 大陸から伝わったものや大陸の影響を受けたもの

- ・ 須恵器…朝鮮半島から製作技術が伝わり、奈良・平安時代まで土師器とともに生産、使用されてきました。初期の須恵器は朝鮮半島の陶質土器に似ていますが、やがて、日本的な形に変化しました。
- ・ 郷屋古墳の中国製の四禽文鏡しきんもんきやう

## 1 日明一本松塚古墳の石室の大きさから古墳づくりのようすを想像しよう。

(1) 日明一本松塚古墳の石の大きさや数を見て、気付いたことや思ったことを書きましょう。



- ・ 大きな石をたくさん使って石室ができていますので、びっくりした。どのようにして、石を運んだのだろう。
- ・ どれだけの人数でこの石室を作ったのだろう。
- ・ 大きなお墓がなぜ必要だったのだろう。

(2) 日明一本松塚古墳の石室のようすなどを見て、気付いたことや思ったことを書きましょう。

- ・ 大きなお墓だから、えらい人のための墓である。
- ・ えらい人が力を示すための墓である。

## 2 出土品を調べよう。

(1) 古墳から出土したものにはどんなものがあるか書きましょう。(絵でもよい。)

(身に着けるもの)

- ・ 勾玉、耳環、ガラス製丸玉など

(生活に使うもの)

- ・ 高杯、壺、鉢、鉄製の農具など

(その他)

- ・ 金銅製馬具、鉄剣、鉄刀など

(2) 大陸から伝わったものや大陸のえいきょうを受けたものを見つけて書きましょう。

- ・ 朝鮮半島から作り方が伝わった須恵器
- ・ 中国の四禽文鏡